



岩手県立大東高等学校

第19号

令和7年3月1日発行

一関市大東町摺沢字堀河ノ沢34-4

岩手県立大東高等学校同窓会

大東高校HP 大東高校note



機種により読み取りが困難な場合があります。

印刷/トーバン印刷(株)

同窓会報



御支援お願いいたします!!

同窓会長 足利 勲
(昭和三十九年度卒)

同窓会の皆様には、日頃より本校のためにご支援、ご協力を賜り心からの感謝を申し上げます。

コロナ禍から立ち上がり、学校行事が再開され、地域での行事も戻ってきました。野球部はじめ各部の活動も活発に動いています。今年度の本校の生徒数が百六十一名と減少しています。地元である大東中学校の生徒さんも、昨春百名あつた卒業生が、今春は七十五名程に減少する見通しです。地域の中学生の人員の推移から、この先も生徒数の減少が続くものと思われま

今年度の同窓会の活動は、六月九日に東京首都圏支部総会から始まり、六月二十二日に盛岡支部、六月二十九日に仙台支部それぞれからご招待があり、それぞれの総会に駆けつけ、懐かしい同窓生の皆様に再会し、楽しい思い出を作らせていただきました。各支部とも会員の高齢化と出席者の減少に頭を痛めている様子の報告がありました。参加して下さった皆様には心よりお礼を申し上げます。

七月五日には本校の総会が開かれ、この席で二年後の創立百周年記念事業に向けて、準備を含めて力を貸してもらえよう協力をお願いしたところです。

ここで、百周年記念事業の計画をお知らせします。記念式典は令和八年十月十日の予定です。これに向け記念事業については五つの委員会を設けてそれぞれ準備が進められています。催

しの計画、予算等の具体的な計画に向けて、学校・同窓会・PTAの三者で協議を重ねているところです。尚、これに先立ち令和七年十月の発行に向けて、開校以来全同窓生(約二万三千名分)の同窓会名簿作成を予定しております。同窓生の皆様には、名簿制作会社(株式会社サトラト様)から現住所の再確認があります。変更のある方は特にも返信をお願いします。購入についても申込みの案内があるものと思いますが、これについても百年の歴史を作ってきた同窓生の絆として手元に置いて生きてきた証としてご活用いただければ幸いです。

今年も野球部が頑張ってくれました。春季大会から地区予選が一関地区と水沢地区が統合され、学校数が倍増しより厳しい予選会となりました。あわせて十七校(内、三校連合一チームのため十五チーム)が参加し、代表七チームの予選会を勝ち上がりました。春の県大会はきたぎんボールパーク(盛岡)にて、一回戦コールド勝ちでスタートしましたが、二回戦で今回も一関学院に敗れて終わりました。夏の大会は花園球場にて一回戦コールド勝ち、二回戦は強豪盛岡一高と対戦し、中盤まで主戦千葉君の力投で互角の戦いを演じたものの、終盤にリードを許し0-13でやぶれました。盛岡一高の堅守も見事でした。しかし、秋の新人戦は三年生が抜けた後、メンバーも六名のみとなり、残念ながら本校初の連合チーム、

大東・金ヶ崎・水沢一高の三校連合チームでの出場となりました。地区予選でも初戦は一関学院と対戦し、16-10というあまりにも大きな力の差があり残念な結果でした。敗者復活戦でも対水沢工業に10-2で破れ、悔しく苦しい秋の新人戦大会のスタートとなりました。

この大会の終了後に私はグラウンド外で金ヶ崎高校(二名のみ)の選手に話しかけました。人員不足で協力していただいたことに感謝の言葉をかけたところ、思わぬ言葉が返ってきました。「少人数でも野球をさせてもらえ、そのものがあるがたい」と、胸に迫る返事が返ってきたのでした。驚きとともにこのような素直な選手の態度に感動を受けました。連合チームを心配していた私自身、この金ヶ崎高校の選手の言葉に心を打たれたのです。同じ野球好きな高校生なのだ、少人数でも頑張っている選手のことをうれしく感じた一瞬でした。今春もこのメンバーが奮起してくれることを期待しています。

うれしいことは、入学生の減少の中、鹿踊部の新入部員が十一名あつたというニュースです。沈みそうになつていく部活動の中に、明るく活気の出る効果くれるものと期待しています。地元をはじめ各種催しへも出演し、大東高校の伝統活動として活躍している鹿踊部をこれからも応援していきます。

今年も進学や就職の季節となりました。地元志向の傾向が続いていると聞いています。自分の選択した進路に向けて努力を続けてください。

校長先生をはじめ教職員の皆様の日頃のご指導に感謝を申し上げます。生徒たちへさらなるご指導をお願い申し上げます。結びに、同窓生の皆様の益々のご健勝をお祈りいたします。



今年の大東高校

校長 大石 敦子

同窓会会員の皆さまには、日頃より本校の教育活動に対し、物心両面に渡り心温まるご支援、ご協力をいただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。四月に着任しました大石敦子と申します。私事ですが、琢磨台へ続く乙女坂をのぼるのは、高校時代の三年間、教諭で勤務した七年間、今度で三度目となります。私が高校生時代に創立六十周年記念式典がありました。令和八年度には創立百周年を迎えます。月日の経つのは早いものだと痛感しております。

大東高校の様子を少しご紹介いたします。今年度、全校生徒百六十一名でスタートし、学習活動、生徒会行事、部活動、委員会活動、ボランティア活動等に生徒たちは大東高校生としての誇りを持ち、青春の笑顔を輝かせ、全力で取り組む姿がみられました。部活動では、高総体に出場した各部の健闘、弓道部釜石大会優勝

春夏の県大会で見せた野球部のチーム力、夏に室蓬ホールで開催された文化部合同発表会、鹿踊部の勇壮な演舞、美術部の全国高等学校総合文化祭岐阜総文への出品等々、どの部も様々な場面で活躍がありました。夏の高校野球県大会二回戦花巻球場での全校応援では、応援団とブラスの演奏に合わせて皆が熱い声援を送る姿があり、スタンドの暑さとともに私の中でも特にも記憶に残る一日となりました。

ほかの主な結果として、陸上部二年の金野桜妃さんがやり投げで新人大会県二位に入賞、青森で開催された東北大会に出場しました。ソフトボール部は千厩高校との合同チームで新人大会県三位となり、三月に神奈川で開催される東日本高等学校女子ソフトボール大会への出場が決まっています。バスケトボール部(男子)は新人大会県ベスト16に入る成果でした。

美術部三年の菅原実乃梨さんの絵画「月影と鼓動」は県高校美術展で特賞に入りました。

一方、部活動加入が任意になったことで部活動に所属しない生徒もおります。また昨年度より大東地域の中学校が大東中一校となりました。生徒数、部員数の減少で、他校との合同チームを編成したり、助っ人を他の部から借りて大会出場したりする様子もありますが、各部とも工夫をこらして活動を充実させています。

生徒会の行事は執行部を中心に生徒がアイデアを出し企画運営を担いました。六月の二日間に渡るクラスマッチは学年をこえての対戦、交流があり、笑顔と明るい声が響きました。十月の琢磨祭では多くの保護者や地域の皆さまにもお越しいただき、情報ビジネス科DJOBの販売も賑わいをみせ充実した文化祭でした。二月の大東大原水かけ祭りは、これまで部活動のボランティアや情報ビジネス科生徒の参加でしたが、今年は一、二年全生徒が参加し祭りを盛り上げました。地域からの本校生への期待は大きく、生徒たちは夏祭り等各种イベントで要請があるとボランティアとして積極的に参加し

ています。頼もしい限りです。

同窓会関係では、首都圏支部、仙台支部、盛岡支部、それぞれの支部総会が六月に開催され、いずれも初めて参加させていただきました。出席された同窓生の皆さまから貴重なお話を伺い、母校へあふれる思いに感銘を受けました。教諭で勤務した時に校長でいらした菊池宏先生に何十年ぶりかでお会いすることもでき、当時と変わらない澆刺としたご様子と温かいお言葉に、身が引き締まる思いでした。

本校は令和八年に創立百周年を迎えます。今年度、組織として記念事業実行委員会を立ちあげ、記念事業委員会、募金委員会、式典・祝賀会委員会、記念誌編集委員会、同窓会員名簿作成委員会の各専門委員会で準備を進めております。今年度は記念事業の一つとして特別教室の音楽室・美術室に新たにエアコンを設置し学習環境を整備していただきました。百周年は学校にとって大きな節目の年となります。これまで同様、今後とも、同窓会の皆さまからの有形無形のご支援、お力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

支部活動報告

首都圏支部

首都圏支部活動報告

首都圏支部長 佐藤 正弘

(昭和三十九年度卒)



物価高が止まらない！ 庶民は悲鳴を上げ始めている。そんな中、今年一年

の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」の発表が十二月十二日、京都の清水寺であり「金」の文字が選ばれました。また、ふるさと納税返礼品の人気は「生活必需品」である「米」「トイレットペーパー」だという。税込減に悩む都市部ではポイント型返礼品で対抗しているとか。物価高と目に見えないインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症に打っ手が見つからないという現実には、先行き不安を感じる昨今ですね。しかし、嘆いていても現況は改善されません。母校創立百周年を目前にして、会員一同頑張るべく決意を新たにしているところですよ。

当支部の令和六年度の活動を報告いたします。

二月十七日(土) 岩手県連合会 県南交流会参加。三月二十三日(土) 首都圏同窓会役員会(以下同窓会と表記)〔会場、アルカディア市ヶ谷〕総会準備、役員十六名出席。四月二十日(土) 東京大東会世話人皆出席〔会場、錦糸町〕。五月十日(金) 同窓会役員会〔会場、錦糸町〕総会準備、十名出席。五月二十九日(金) 同窓会役員会〔会場、アルカディア市ヶ谷〕総会準備、八名出席。

六月九日(日) 十一時四十五分〔会場、アルカディア市ヶ谷六階「霧島」〕令和六年度総会講演会・懇親会。四十名参加。記念撮影は菅原吉男氏(昭和四十年卒)が担当。一部総会進行は佐藤修一氏(昭和五十三年卒)が担当。開会の辞・物故者に黙祷・校歌斉唱まで進行。佐藤支部長あいさつ。森井七郎副支部長兼会計担当(昭和四十四年度卒)会計報告。その後、支部長より来賓の紹介。来賓は、大東高校新校長大石敦子先生(昭和六十一年度大東高校卒)、足利勲同窓会長・芦宏副会長、日本大学名誉教授河野英一先生、小山西明仙台支部長、鳥畑弘幸氏(岩手三九会代表)、飛内哲郎様(第五代校長飛内正一先生のご子息)。

以上七名の方々をお迎えして開催。大石校長先生、足利同窓会長、河野英一先生のお三方からは、ご丁

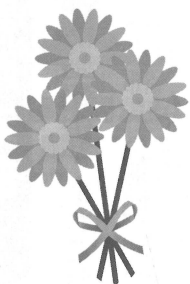
寧なご祝辞を頂戴いたしました。第一部終了あいさつ笹森美代子さん(昭和四十八年度卒)。第二部講演会、第三部懇親会の司会は米内隆氏(昭和五十二年卒)が担当。講演会講師は菅原伸雄氏(昭和四十年卒)・演題「不動産と登記の話」(参加者の感想)「これは為になる！」とご好評をいただきました。第三部の懇親会では、最初に来賓祝辞を芦宏様、小山西明様、鳥畑弘幸様、飛内哲郎様よりいただきました。その後、学年ごとの写真撮影。伊東正男氏(昭和四十一年度卒)の祝い唄・江川信風氏(昭和四十五年卒)の尺八演奏があり、懇親は大いに深まりました。伊東道郎氏(昭和四十三年度卒)による万歳三唱。及川武氏(昭和五十四年度卒)が閉会を宣して会は終了。二次会は同会館の二階レストランで懇親を重ねて散会。

その後の活動としては、一般財団法人防災教育推進協会のご厚意で寄贈を受けていた「私たちの防災」・防災バッヂを大石敦子先生宛送致。九月二十九日(日) 大原同郷人会(会長上野仁子昭和四十四年度卒)〔会場、アートホテルズ日暮里ラングウッド〕、十一月十三日(水) 同窓会役員会〔会場、市ヶ谷日大桜門会館〕八名出席。十一月十七日(日) 東京

大東会(代表世話人築瀬勝夫昭和三十五年度卒)〔会場、アルカディア市ヶ谷〕今後の予定。三月二十九日(土) 同窓会役員会。



首都圏支部総会(円卓ごとに登壇)



仙台支部

仙台支部近況報告

仙台支部長 小山 政明

(昭和三十九年度卒)



令和六年度の
同窓会仙台支部
総会を六月
二十九日(土)
いつもの炉端焼

き店「蔵の庄」で開催しました。例年だとこの時期らしく雨の同窓会になるケースが多いのですが、今年は好天に恵まれ参加者の足を濡らすことはありませんでした。今回は会員が十名、本部から足利会長と大石敦子校長先生、それに山崎元副会長をお迎えして、あわせて十三名の会となりました。相変わらずの少数精鋭となりましたが、参加者はいつもの常連さんであり、今回初登場の大石敦子校長先生が本校の出身ということではじめから旧知のごとく和気あいあいの会合となりました。校長先生手ずから編纂された「大東高校近況報告」を元に母校の現役生のクラブ活動での活躍ぶり、進学や就職の現状など詳しくご報告いただきました。今年の入学生が五十一名と伺い、参加者のほとんどが啞然といった感じになりました。この少子化時代、多少の予測

はありましたが、あまりにも早い故郷の変貌ぶりに戸惑わざるを得ません。一体我が母校はどうなってしまうのでしょうか。

私が生まれ育った興田地区、かつては興田中学校を中心に興田小、中川小、丑石小、天狗田小、京津畑分校の小学校の他に、大東高校の前身・摺沢高校の興田分校までありました。言ってみれば興田は大東町での文教地区だったと思います。昨年全ての学校が興田地区から消え、摺沢地区に吸収されました。学校は地域の文化の核であり、無くてはならないものです。学校が無ければ、その地域に子どもたちが居なくなり、人が住まなくなると言うことです。

先頃、二十数年後の二〇五〇年には全国千七百余りの自治体のうち約四割が「消滅自治体」になるというショッキングな報道がありました。限界集落という言葉はよく聞かれますが、消滅自治体というワードは最近よく使われるようになりまし。

去年の夏、久しぶりに母校の興田中学校を訪ねました。廃校になつて一年しか経っていないのかつてテニスが夢中になつた懐かしのグラウンドが雑草だらけの草原と化していました。自分の原点とも言ふべき故郷が先細つてゆく姿を見て、とても切なく悲しく胸

が締め付けられる思いでした。

同窓会も全く同じ状況に置かれています。仙台の会員の平均年齢はすでに七十七歳。このまま先細つていくのか、若返りを図り活気のある新たな同窓会を目指すのか。まさにその分岐点になっているのだと思います。

今を生きている現役の生徒のみなさんには、人数規模は小さくなくても、大きな夢を持つてクラブ活動に、勉強に、大いに羽ばたいてほしいと祈るばかりです。
大東、大東、我が母校！



仙台支部総会

盛岡支部

盛岡支部活動報告・あれこれ

盛岡支部長 菊地 新悦

(昭和四十六年度卒)



十二月の初旬に届いた同窓会報の「原稿依頼」の封書。何を書こうかと迷った

末に机の片隅に。それから何度かの雪が降り、いつしか根雪になつた頃の年末・年始。ふと思ひ出したら締め切りまであとわずか。あつと思つて、いざ勝負とばかりに取りかかつてみたものの、なにやら材料不足。それもそのはず、夕ツ年中自分は体調が思わしくなく「除夜の鐘聴きつつ撫でる手術痕」などという駄句などを作つたぐらいでしたし、また支部活動を支えてくださる先輩方も足腰が重くなつており、つまりは最低のことしかできていなかったたので、材料不足は否めない。

今年は何度も新しくなれるということと、つまり何度も新しくリセット・チャレンジできるといふことから縁起の良い年なのだそうです。会員の皆様には誠に申し訳ありませんが、そのへび年にちなんでぜひリセットをお願いします。どうぞ、



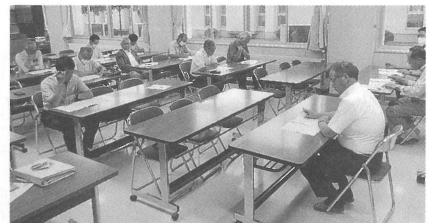
盛岡支部総会

お許しを。
 今年のいいことをもうひとつ。
 昭和百年だそうで、百から自分の
 生まれた年を引くと自分の年齢に
 なるという算数が簡単に成り立ち
 年齢のわかりやすい年なのだそう
 です。例えば昭和二十八年十二月
 三十一日生まれの方は、百ひく
 二十八イコール七十二というよう
 にです。お元気で。
 「令和六年度の主な報告」
 ○五月二十一日。伊東支部長宅に
 て同窓会報の発送作業。毎年この
 とですが会員の減少が激しく、昨
 年度に届いた「あて所に尋ねあた
 りません」で戻ってきた封書や転
 居の文書がかなり多く、他に「お
 亡くなりになり云々」の通知、「も
 う送付しないで」やら「もう母校
 には十分尽くしましたので」など
 の連絡も増えてきました。さらに

少子化の波。盛岡支部には若者の
 加入が皆無に等しいのです。
 散歩しながらそちこちの公園を
 眺め見る機会も多いのですが本当
 にさびしいかぎりです。公園はそ
 ちこちにあり、遊具もあり遊びの
 スペースのある公園も多いですが、
 あたりは静まりかえり、大人も子
 どももいない。逆に遊具のまわり
 には赤いコーンがありロープが張ら
 れて使えないようにしてある。ブラ
 ンコや鉄棒はさび始めていて、もう
 遊ぶという習慣さえ忘れてしまっ
 たかのようで、もはや公園と言え
 るかどうか。子どもは未来、子ど
 もは夢。こんな風で私たちの未来
 が明るいと言えるのかどうか。母
 校の生徒減も目に浮かぶようです。
 ○六月二十二日。盛岡支部総会開
 催。これはこれで楽しく盛大に。
 この会で伊東支部長の突然の退任
 宣言があり、周囲に激震が走りま
 した。
 ○夏の高校野球甲子園大会県予選
 応援。伊東支部長に対応していた
 だきましたが、母校は惜敗。ここ
 にも少子化の波が押し寄せていま
 す。
 とりとめのないことを綴ってし
 まいました。この辺りでペンを置
 きます。
 間もなく母校創立百周年とか。
 同窓生、貫く棒のごときもの。大
 いなる未来展かん。

令和6年度 本部総会報告

令和6年7月5日(金)に同窓会本部総会が開催されました。昨年の反省を踏まえ、新卒者が出席しやすいように会場を本校会議室にし金曜日の夕方に設定しましたが、残念ながら新卒者の出席が無く、激励会を実施することはできませんでした。



総会には22名が出席し、菅原正幸氏(S57卒・猿沢)を議長に、令和5年度の事業報告・決算報告、令和6年度の事業計画・予算案について承認されました。また、昨年度の総会で承認された新入生への応援歌CD販売中止に伴う「CD会計」の残金については、今後「教育活動補助費」として活用することが承認されました。役員改選については、令和8年度の100周年までは現在の体制で進むことが承認されました。



その他として、参加会員からここ数年の入学生の激減に危機感を抱いているという声上がり、同窓会としても学校の魅力のアピールが急務であることが確認されました。

総会後の懇親会は、摺沢駅前前の「中華レストランバンバン」に会場を移し、思い出話やこれからの母校について熱く語り合う時間となり、大変盛会でした。

【事務局から】◎同窓会本部総会の案内について

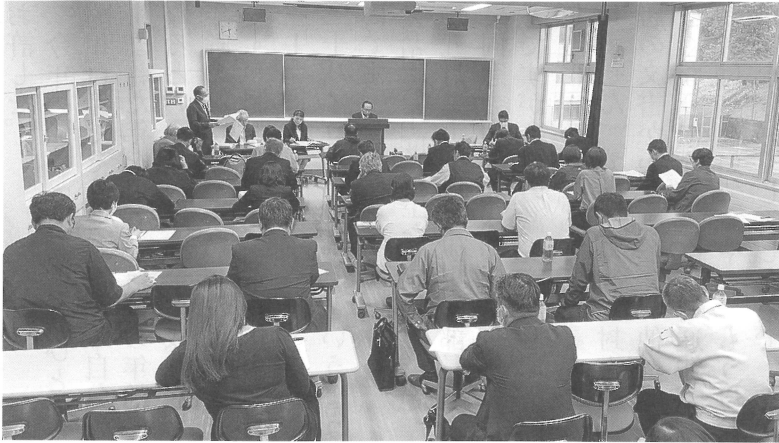
郵送での案内は、理事と前年度出席者に限定し、全体へは同窓会ホームページへの掲載で周知したいと思います。

今後、100周年に向け同窓会からも情報を発信していきたいと考えておりますので、時々ホームページの方も覗いてみてください。

URL <https://www2.iwate-ed.jp/dai-h/>

●令和5年度同窓会会計報告

収入総額	1,181,766円
支出総額	806,423円
差引残額	375,343円



令和六年五月二十八日(火)に「岩手県立大東高等学校創立百周年記念事業実行委員会設立総会」が開催されました。総会の報告を兼ね、百周年に向けた取り組み状況をお知らせいたします。

岩手県立大東高等学校 創立百周年に向けて

組 織

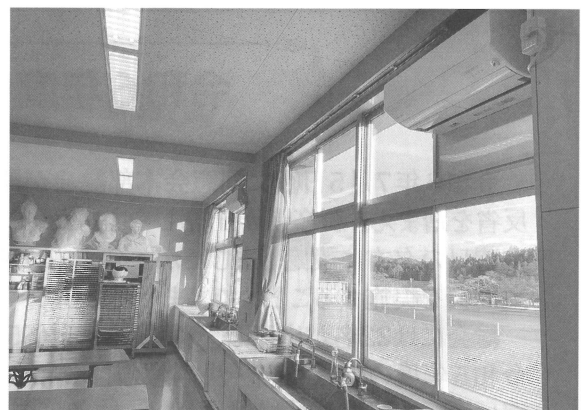
- 会 長 足利 勲 (同窓会長)
 副会長 千葉 邦弘 (PTA会長)
 大石 敦子 (校長)
 監 事 小山 富夫 (同窓会監事)
 太田 行宏 (同窓会監事)
 藤田 俊彦 (同窓会監事)
 PTA 監事
 事務局長 曾根 達也 (副校長)
 事務局 各課主任

各委員会事業内容、進捗状況

【記念事業委員会】

委員長 金 秀也
 (同窓会副会長)

記念事業として(一)特別教室のエアコン設置(二)部活動等奨励事業(三)記念講演等を企画検討中。(二)のエアコン設置については、昨今の猛暑に対処するため、PTA総会で了承を得て令和七年一月に完成。



エアコンが設置された音楽室(左)と美術室(右)

【募金委員会】

委員長 芦 宏
 (同窓会副会長)

各方面への協賛金の依頼と收受。同窓会名簿発行、令和七年十月予定。その後、募金趣意書発送予定。学校ホームページ等で周知。

【式典・祝賀会委員会】

委員長 伊藤 玉男
 (PTA顧問)

式典・祝賀会の企画。記念品の検討・発注。
 令和八年十月十日(土)式典・祝賀会実施予定。式典は本校第一体育館で開催。祝賀会会場は検討中。

【記念誌編集委員会】

委員長 菊地 誠徳
 (同窓会副会長)

記念誌の企画・編集・販売。トイバン印刷(株)に発注。
 令和九年三月発行予定。原稿執筆者選考中。



【同窓会名簿作成委員会】

委員長 鈴木 哲史
(同窓会副会長)

同窓会名簿企画・作成・販売
(株) サラトに依頼。同窓生への
現住所確認はがき送付。

令和七年十月完成、購入希望者
への発送予定。頒布価格四千八百
円。

百周年記念誌編集委員会からの
お知らせ

【その二】タイトル公募

大東高校百年の歴史を後世に残す「百周年記念誌」のタイトルを公募予定です。詳細は、後日本校ホームページにてお知らせいたします。

【その二】執筆者募集

記念誌へ寄稿してくださる方を募集します。大原商業高校・大東高校の卒業生で、百年の歴史の一角を一二〇〇〜一五〇〇字程度でご寄稿いただける方、本校の事務局（総務課）までご連絡ください。



創立100周年記念版名簿発行のお知らせ

このたび、創立100周年を記念し、同窓会名簿を発行する運びとなりました。

「安全」「正確」なデータ管理のため、同窓会を総合的にサポートする専門会社(株)サラトに業務を委託しています。同社より確認はがきや名簿購入の案内を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 名簿発行日：令和7年10月下旬
- 体 裁：A4判（約200頁）
- 名簿価格：4,800円（送料・税込み）

名簿作成委託先

株式会社サラト(兵庫県姫路市)のホームページ

<https://salat.co.jp/>

令和六年度 在校生の活躍

運動部

陸上競技部

第二十九回東北高等学校新人陸上競技選手権大会
女子 やり投 金野桜妃 第十一位

バスケットボール部

第七十回若手県高等学校新人大会
男子 ベスト16

弓道部

第七十六回若手県高等学校総合体育大会
男子 団体の部 ベスト16

第五十九回若手県弓道釜石大会
男子 団体の部 高橋竜・松川茉生・菅原雄太 優勝

男子 個人の部 高橋竜 第二位

ソフトボール部

第七十一回若手県高等学校新人大会
第三位(千厩・大東合同)

東日本高校女子選抜大会出場

硬式野球部

第七十一回春季東北地区高等学校野球若手県大会
ベスト16

文化部

美術部

第四十七回若手県高等学校総合文化祭美術工芸展(第六十二回県下高校美術展)
特賞 絵画部門 菅原美乃梨

ワープロ部

令和六年度若手県高等学校ワープロ競技大会
団体 五位

その他

NIE

日本新聞協会第十四回「いっしょに読もう! 新聞コンクール」
学校奨励賞

令和 6 年度 進路概況

R7.2.14 現在

進路	区 分	男 子		女 子		合 計 (55名)	
		普 通 科	情報ビジネス科	普 通 科	情報ビジネス科		
学	大 学	国 公 立	2	0	1	0	3
		私 立	4	1	4	0	9
	短 期 大 学	国 公 立	0	0	0	0	0
		私 立	0	0	0	0	0
	専修・各種 学校	医 療 系	0	0	4	0	4
		医療系以外	3	1	8	1	13
文 科 省 管 轄 外		1	0	0	0	1	
合 計		10	2	17	1	30	
就 職	民 間 企 業	管 内	5	3	4	1	13
		県 内	1	2	0	0	3
		県 外	3	0	3	2	8
	公 務 員	0	0	0	0	0	
	合 計		9	5	7	3	24
そ の 他		0	0	0	0	0	
合 計		19	7	24	4	54	

【主な進学合格先】

岩手大学教育学部・岩手県立大学ソフトウェア情報学部・つくば国際大学・東北学院大学・東北福祉大学・拓殖大学・日本大学・東北医科薬科大学・高崎商科大学・一関高等看護学院・岩手県立産業短期大学校

【主な就職先】

株式会社富士通ゼネラルエレクトロニクス・日本郵便株式会社東北支社・株式会社オヤマファーム・株式会社ジャパンセミコンダクター・東芝コンシューママーケティング株式会社

役員会名簿

令和六年度 大東高校同窓会

会 長	足利 勲(曾慶)
副会長	鈴木 哲史(一関)
理 事	芦 宏(大東)
	菊地 誠徳(猿沢)
	金 秀也(渋民)
	後藤 凌作(摺沢)
	穴戸 武英(摺沢)
	大石 敦子(校長)
	岩池 幸郎(大原)
	太田 正幸(大原)
	菊池 政和(大原)
	金野 幸富(大原)
	金野 育朗(大原)
	岩池 隆太(大原)
	菊池 城治(大原)
	佐藤 一男(川崎)
	小崎 真樹(渋民)
	山崎 司朗(松川)
	高橋 勝男(東山)
	鈴木 淳(東山)
	菊池 武司(千厩)
	小野寺二男(東山)
	泉 好信(曾慶)
	佐藤 徳幸(曾慶)
	太田 行宏(大原)
	小山 富夫(興田)
	藤田 俊彦(猿沢)
監 事	

計 報

平成四年から平成二十年七月までの長きにわたり、本校同窓会の会長を務められた三浦巧様が令和七年一月に逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

あ と が き

寒に入っても暖かい日が続いたかと思えば、立春が過ぎてからの寒波。気候の変動に振り回される昨今です。

今年も、同窓会報第十九号を発行することができました。お忙しい中ご寄稿くださいました同窓生の皆様、本当にありがとうございました。

創立百周年まであと一年となりました。今後とも、母校の教育活動にご支援とご協力をお願いいたします。

▼「令和六年度卒業生幹事」
(○は代表幹事)

- 及 川 梨々花(三A)
 - 佐 藤 拓 哉(三B)
 - 金 野 遥 斗(三C)
- よろしくお願いたします。

事 務 局

〒〇二九一〇五三三
岩手県一関市大東町摺沢
字堀河ノ沢三四一四
岩手県立大東高等学校内
TEL(〇一九)七五―三三六九
FAX(〇一九)七五―三三一一七
事務局員 武田 宏 行
蜂須賀 美 玲
足利 麻 美